平成25年度(3)年生(社会)科シラバス

教科の目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

月	単元・項目	時数	つけてほしい力	学習のアドバイス	評価方法	
4	歴史的分野 第6章 二度の世界大戦と日本 2 世界恐慌と日本の中国侵略	9	・世界恐慌が各国に与えた影響と、各国がとった不景気対策について理解できる。	・世界恐慌からファシズムの台頭までの流れを簡単にまとめてみよう。	定期テスト 単元テスト ノート 提出物	
		9	・第二次世界大戦前後の世界情勢の流れと、日本のおかれていた状況についてつかむことができる。	・第二次世界大戦の展開を、地図や主な事件の年表等を使いながらまとめてみよう。第二次世界大戦について追体験し、経過・結果を理解しよう。		
	5	第7章 現代の日本と世界 1 日本の民主化と国際社会への復帰	8	・冷戦や挑戦戦争と日本の独立の関係について説明することができる。		・連合国の占領政策を把握し、アメリカの傘下から日本が国際社会に復帰していく過程をつかもう。
		2 国際社会と日本	7	・歴史的分野の終わりにあたって、日本が今後どうしていくべきかを考えることができる。		・現代に至る歴史の過程をつかみ、これからの日本の責任について理解しよう。
6	歴史のまとめ	5	・年表をもとに、重要語句、人物を再確認し、歴史の流れを確認できる。	・様々なパターンの演習問題にチャレンジしよう。		
7	1章 わたしたちの生活と現代社 1節 現代社会と私たちの生活と文化	3	・現代日本の特色として、グローバル化、情報化、少子高齢化などが見られることを理解するとともに、政治、経済、国際関係に影響を与えていることに気づく。	・現代日本の特色であるグローバル化、情報化、少子高齢化などを写真や統計資料などから読み取ろう。		
		4	・日本の伝統と文化の特色について、歴史的背景や地域的な多様性も含めて理解し、文化におけるグローバル化、情報化、少子高齢化の影響に具体的に気づき、文化をめぐる課題について考えることができる。	・日本の伝統文化が日々の暮らしの中で、ものの見方や考え方に影響していることを多面的・多角的に考察しよう。		
	3節 現代社会の見方や考え方	5	・現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方があることを、具体的な社会生活と関連付けて理解させる。	・身近な事例を通して、対立と合意、効率と公正などが、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎となっていることを理解しよう。		
	2章 人間の尊重と日本国憲法 1節 人権と日本国憲法	3	・日本国憲法の制定の意義を大日本帝国憲法と比較検討させながら日本国憲法の基本原理(基本的人権の尊重・民主主義・平和主義)について理解する。 ・身近な事例を通じて、基本的人権の尊重の意義を理解し、また、基本的人権を守り発展させていくためには国民の「不断の努力」が必要であることに気づく。	・基本的人権に関する身近な問題を、人権尊重の考え方から取り上げ、日本国憲法をはじめとする法とのかかわりについて意欲的に調べよう。		
9	2節 人権と共生社会 2節 人権と共生社会	9	・具体的な事例を通して、日本国憲法に定められている基本的人権の種類やその内容を理解する。 ・共生社会を実現するために自分たちができることを考え、社会の形成者として自ら進んでかかわっていくとする態度を身につける。	・読み物資料や新聞記事などを活用しながら、落差別や民族差別、女性や障がいのある人々などに対する差別がどのようなもので、その解消に向けて何が行われているのかについて理解しよう。		
		8	・具体的な事例から社会の変化に伴って人権の考え方も変化することに気づく。 ・人権上の新しい課題にはどのようなものがあり、それらがなぜ重要なのかを理解する。	・読み物資料や新聞記事などを活用し、人権保障の国際的な広がりとインターネットと人権とのかかわりなどについて、現状と課題を読み取ろう。		
	3節 これからの人権保障	8	・政治や議会制民主主義の意義や基本的な考え方について理解する。 ・多数決の原理や選挙の仕組み、政党や世論の役割などについて理解する。	・作業・体験的学習を通じて、選挙などの国民の政治参加により、よりよい民主政治が行われていることに気づこう。		
10	3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治	6	・国会・内閣・裁判所の仕組みと働きについてその知識を身に付けるとともに、国会・内閣・裁判所の地位や役割、相互関係のあらましを理解する。	・新聞記事や法令、判例等を活用し、現代日本の政治について多角的・多面的にとらえよう。		
		7	・地方自治が直接民主制の手法を導入している理由について説明できる。 ・住民自治を基本とする地方自治の考え方や、地方公共団体の政治の仕組み、地方財政の仕組みなどについて理解する。	・現代政治の課題の中からいくつかを選択し、これまで学習したことを活用して自分の意見をまとめる。		
11	4章 わたしたちの暮らしと経済 1節 暮らしと経済	5	・身近な消費生活をもとに、暮らしと経済の関係に気付かせるとともに、その背景にある流通の役割について理解させる。 ・消費者の権利の重要性と消費者を守り、消費者の自立を支援する消費者行政の意義について理解する。	・身近で具体的な事例を通して経済に対する関心をもち、経済についての見方や考え方の基礎を身につけよう。		
		5	・企業が、消費者や株主、労働者の利益を増進させる役割を担っていることに気づき、現代における企業の在り方について考えることができる。 ・勤労が国民の権利であり、雇用と労働条件の改善が重要であることを理解する。	・特に現代の日本の労働や雇用に関する課題を考えよう。		
	3節 価格の働きと金融	5	・市場経済の基本的な考え方に気づき、関心を持つとともに、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解する。 ・需要量・供給量と価格の関係や、市場競争、寡占などについて、統計資料などから読み取り、その特徴を理解する。	・需要量・供給量と価格の関係について、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考えてみよう。		
1	4節 国民生活と福祉	9	・財政の役割について、財源の確保と配分という観点と、租税の意義と役割、納税の義務を通して理解する。 ・少子高齢社会と社会保障の充実、日本経済の発展と課題など、経済上の諸課題に関心を持ち、多面的・多角的に考えることができる。	・様々な資料を利用して、現代の日本経済にどのような問題があるのか気づき、今後の日本経済のあり方を考えよう。		
2	5章 地球社会とわたしたち 1節 国際社会と世界平和	8	・国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の拡大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことが重要であることを認識できる。 ・核兵器などの脅威に着目し、戦争防止と世界平和を願い、協力していく態度を持ち、国際平和に対する日本の国際貢献の在り方について様々な角度から考えることができる。	・現代の戦争の特徴をまとめよう。また、テロや地域紛争が起こっている原因や背景をまとめてみよう。		
		8	・地球環境、資源・エネルギー、人口、貧困などの諸課題について理解する。 ・諸課題の解決のためには経済的・技術的協力が大切であることを理解するとともに、日常生活の中で取り組めることについて、意見発表ができる。	・危機にある地球環境を守るために、国際社会はどのような取り組みをするべきか考えてみよう。 ・再生可能エネルギーについてその利点と課題を説明できるようにしよう。		
3	よりよい社会をめざして	6	・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を見いだすことができる。 ・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を探究することを通して、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を身に付けることができる。	・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題と、その解決策を、これまでの社会科の学習で取り上げた知識と関連付けて理解しよう。		